

1/18 (水) 茨城県統計功労者表彰式

統計事業の一層の充実と統計知識の普及啓発を目的として、茨城県統計功労者表彰式が茨城県庁にて開催されました。町からは、統計調査員としての活動が評価され、7人が表彰されました。

表彰区分	氏名(敬称略)
茨城県知事表彰	栗原 知子(前田)
茨城県統計協会総裁表彰	會 沢 勇 夫(宮ヶ崎)
	小 澤 二三子(長岡)
	福 田 喜 一(常井)
総務大臣表彰	打 越 賛(大戸)
	江 幡 武 男(駒場)
	深 作 正 雄(下飯沼)



※写真は前列左から打越さん、深作さん、會沢さん、小澤さん、後列左から、江幡さん、福田さん、栗原さん

1/23 (月) 涸沼で野鳥観察勉強会

町観光協会(澤秀雄会長)は、設立2年目を迎えた観光ボランティアガイドのスキルアップを図るため、町ふるさと大使の山口萬壽美さんを講師に招き、野鳥観察勉強会を開催しました。一般参加を含めた約30人の参加者は、親沢公園などの観察スポットを巡り、スズガモやカワウをはじめとする野鳥の特徴や生息について、熱心に学びました。



1/15 (日) 小幡城跡の環境整備活動

町指定史跡である小幡城跡にて、倒木や竹などの撤去を行う環境整備活動を実施しました。活動には地元住民や各団体会員、民間企業社員など約130人が参加し、小幡城跡の保全に向けて汗を流しました。今後も地域、企業と町の協働で環境整備を続けていく予定です。



1/24 (火) 交通栄誉章緑十字銀章を受章

長年にわたり交通安全活動に尽力した上田準さんが、(一財)全日本交通安全協会から表彰されたことを称え、小林町長からお祝いの言葉が送られました。

上田さんは「このような章を受章でき、とても光栄です。今回の受章は、水戸地区交通安全協会茨城支部の総合力の結果の現れだと認識しています。」と語りました。



1/24 (火) 人名救助者に感謝状を贈呈

町は笠間市在住の海老沢良則さん(下石崎出身)に、人命を救助した行動をたたえ感謝状を贈呈しました。

感謝状を授与された海老沢さんは、家族で訪れた町内の小幡にある飲食店で、そばを喉に詰まらせて意識を失った67歳の男性客を発見。床に倒れ込んだ男性にハイムリック法と呼ばれる異物の除去法を実施し、呼吸を再開させました。

海老沢さんは「最初は躊躇したが、一緒にいる妻に『助けに行っておいて。』と声を掛けられ、救うことを決心しました。命を救うことができました。と笑顔を見せていました。」



1/9 (月) 消防出初式

茨城町消防出初式が、茨城町立中央公民館大ホールにおいて開催され、町消防団員など消防関係者約300人が参加し、防災への誓いを新たにしました。

式典では、長年にわたり消防団活動に従事した団員や、優良団員などが表彰され、火事や災害などの局面において人命・財産を守った功績を称えました。

例年、出初式では消防車による一斉放水などが行われますが、今年は悪天候のため式典のみの開催となりました。



1/4 (水) 役場を彩る生け花の展示

茨城町花き生産組合では、平成26年から生け花教授 高畑悦子先生の協力のもと、茨城町役場庁舎玄関や各課窓口に生け花を毎月展示しており、この取り組みは今年で4年目を迎えました。

同組合から町内で生産される菊などの季節の花や枝物である柳を中心に花材の提供を受けたものを、高畑先生に生けて飾っていただいています。今年の正月には松や金や銀で色を塗った柳など縁起のいい花材を揃え、新年を祝う生け花を展示しました。



1/10 (火) 少年の主張作文 表彰式



日常生活の中で感じたことなどを言葉に表し、広く社会に訴えることによって、将来に向かって自信と誇りを抱いてもらうことを目的とした「茨城町少年の主張作文」(青少年育成茨城町民会議主催)の表彰式が茨城町役場で行われました。

多数の応募(小学生275点、中学生87点)の中から町長賞を受賞した江幡さくらさんは「勇気を持つこと」と題し、いじめをなくすためには、みんなで勇気を持つことが大切であると主張しました。

表彰区分	小学生の部		中学生の部	
	部門	受賞者	部門	受賞者
町長賞	青葉小学校6年	藤 枝 胡 百	青葉中学校1年	江 幡 さくら
教育長賞	大戸小学校6年	増 田 青 葉	明光中学校2年	石 田 彩 華
	青葉小学校6年	奥 谷 春 希	明光中学校3年	加 藤 雄 大
	長岡小学校5年	早 瀬 あおい	明光中学校2年	高 田 直 紀
町民会議会長賞	長岡小学校6年	渡 辺 優 人	明光中学校3年	小 室 柚 衣
	葵小学校5年	大 倉 ほのか	青葉中学校2年	石 川 愛 梨
	葵小学校6年	加茂川 倅 都		
	葵小学校6年	関 晴 文		

1/13 (金) 地域の人から学ぶ伝統ならせ餅体験

長岡小学校5年生の児童が、地域の高年者クラブ「長岡長寿会」の方々から、紅白の餅を木にならせ、無病息災と五穀豊稔を祈願する茨城の伝統行事「ならせ餅」を学びました。

初めて餅つきを体験する児童もおり、子どもたちにとって貴重な体験となりました。



1/12 (木) 高校生 涸沼の自然環境を学ぶ

県立茨城東高等学校では、キャリア教育の一環として進路意識と職業観を養うため、キャリアデザイン体験学習を実施しています。

12日には同校1年生の約40人の生徒が、町企画政策課職員の説明により、ラムサール条約と涸沼について学びました。生徒たちはラムサール条約や涸沼に生息する動植物の説明を受けた後、涸沼自然公園周辺にて野鳥観察を楽しみました。

